

目標達成に向けた具体的な取組（令和元年度実績）

①地域における役割を踏まえた医療提供体制

新改革プラン		R01取組内容等	自己評価
(1) 新病院の建設			
	①新病院基本計画に沿った取組（H29～）	①基本計画の予定通りに、計画事業費の範囲内で実施設計を完了するとともに、新病院建設工事を発注した。	A
	②新病院の基本設計への着手（H29～）	②実施設計業者と各部門別にヒアリングを行い、計画事業費の範囲内で実施設計を完了した。また、基本計画に基づきプレハブ造の仮設棟へ南棟の諸室を移転し、南棟ほか解体工事に着手した。	A
(2) 地域に必要な高度な急性期医療への対応			
	①救命救急センターの維持（継続）	①24時間365日体制で救急患者を受け入れ、断らない救急を目指し高度な医療の提供に努めた。また、新病院建設では実施設計図を完成し更なる強化を図った。	A
	②地域医療支援病院の承認（H29～）	②紹介率63.3%、逆紹介率103.9%と地域との連携を図るとともに、医療従事者に対する研修を16回開催するなど、基準を満たし地域医療支援病院の維持に努めた。	A
	③地域がん診療連携拠点病院の維持（継続）	③例年実施のがんセミナー2回、医療従事者向け緩和ケア研修会4回、医師向け緩和ケア研修会（PEACE）2回のほかに、地域のNPOと協力し、市民向けフォーラムを1回、多施設合同会議を1回新たに開催した。また、がん患者会や就労相談も定期的に行っており、がん診療連携拠点病院事業のさらなる充実に努めた。	A
	④東京都周産期連携病院の維持・小児救急体制の整備（継続）	④産科医師、小児科医師及び麻酔科医師の当直及びオンコール体制の確保並びに病床の確保など体制を整備し、引き続き指定を受けることができた。	A
	⑤地域災害拠点中核病院の継続（継続）	⑤東京都災害拠点病院設置運営要綱にもとづき、9月から11月にかけて3回火災訓練を実施、また、備蓄資器材の点検を行い、平常時から動員体制の確立に努めた。	A
	⑥第二種感染症指定医療機関の維持（継続）	⑥新病院の建設にかかる南棟の解体に伴い、感染症病床の維持について協議の結果移転できずに感染症病棟は閉鎖となったが、新型コロナウイルス感染症患者の受入れ対応に努めた。また、新病院の建設計画による感染症病床の増床にかかる手続を進めた。	B
	⑦高度専門医療の強化・拡充（継続）	⑦地域に必要な高度な急性期医療の維持に引き続き努めるとともに、新病院に向け、当院の機能を十分に果たすための体制作りを進めた。	A
	⑧医療機器の整備（新病院建設を見据えた計画的な購入）（継続）	⑧PET-CT・SPECT-CT装置、人工心肺装置の更新など老朽化した機器の更新を進め、医療の充実に努めた。	A

〈取組状況〉A：計画通りに取り組み、目標を達成できた、B：計画通りに取り組んだが、目標を達成できなかった、C：計画通りに取り組めず、目標を達成できなかった

新改革プラン		R01取組内容等	自己評価
(3) 経費削減に係るもの			
1 職員給与費の適正化	①国や東京都および民間の給与との均等を図り、定期的に見直しを行っていきます。(継続)	①人事院勧告、東京都人事委員会勧告に伴い、市職員の給与改定に準じた給与改定を行った。	A
	②職務と責任に応じた適正な給与体系の導入を図ります。(継続)	②特殊勤務手当の一部について、見直しに向け労働組合と継続協議している。	A
	③人事評価を活用した給与査定を導入を図ります。(H29～)	③勤勉手当の成績率について、全職員を対象に反映した。	A
2 診療材料費削減の取組み	①先発医薬品から後発医薬品(ジェネリック薬品)へ、引き続き検討して切り替えていきます。(継続)	①採用薬の整理を進め、31品目を削減した。後発薬品は7品目を採用し、使用割合は90.3%となった。	A
	②手術に使用する材料のセット内容の見直しや採用品目等の検討を継続して行い、削減に努めます。(継続)	②新たに144品目を採用し、代替により88品目を削除した結果、削除率は61.1%となった。	A
	③診療材料購入コストのベンチマーク(病院間比較)を取り入れ、効果的な削減を図っていきます。(H29～)	③ベンチマークを導入し、材料購入価格の値引き交渉を行った。また、採用時にも希望価格で交渉を行った。手術キットの内容を精査し、メーカーに値引き交渉を行った。削減年間換算額約1,060万円	A
3 委託料の適正化	①長期継続契約やプロポーザル方式等を活用し、業務内容の質の確保と契約金額の適正化を継続して図っていきます。(継続)	①コンビニエンスストア運営事業者の選定について、公募型プロポーザル方式で運営事業者を決定した。また、給食業務委託について、指名型プロポーザル方式で業者を決定した。	A
4 光熱水費削減への取組み	①二酸化炭素の排出量を基準排出量(平成27年度～31年度の平均値)に対して、平成29年度以降は13%以上削減します。(継続)	①空調機の設定温度見直しや、節電パトロール、LED照明の設置拡大等の実施により基準排出量に対し、22.7%削減を達成した。	A
	②エネルギー使用原単位を毎年対前年比1%以上削減します。(継続)	②空調機の設定温度見直しや、節電パトロール、LED照明の設置拡大等の実施によりエネルギー使用原単位は対前年比0.9%削減を達成した。	B
	③PPS(新電力会社)導入による電力料金削減を継続して行います。(継続)	③PPS(新電力会社)との、契約に当たり見積競争を実施した。基本料金は上昇したが、使用量の減、燃料費等の下落により対前年度比806万円の減となった。	A
	④LED照明整備による電力削減の取組みを継続して行っていきます。(継続)	④LED照明の設置拡大や、空調機の設定温度見直し、節電パトロール等の実施によりエネルギー使用原単位は前年度比0.9%減となった。	A
(4) 収入確保にかかもの			
1 地域医療支援病院の承認	①地域連携の強化により、紹介率・逆紹介率の向上を図り、地域医療支援病院の承認を目指します。(継続)	①年間の紹介率が63.4%、逆紹介率が108.9%と、基準となる紹介率50%、逆紹介率70%を安定して上回ることができた。	A
2 DPCⅡ群病院の指定	①高度な医療技術の実施(難易度の高い手術件数の増)(継続)	①病院運営会議や院長BSCなどにおいて働きかけを行った。件数は前年度同様の水準であったが、鏡視下手術は減少した。	B

(取組状況) A: 計画通りに取り組み、目標を達成できた, B: 計画通りに取り組んだが、目標を達成できなかった, C: 計画通りに取り組めず、目標を達成できなかった

新改革プラン		R01取組内容等	自己評価
3 診療報酬への対応	①大きな改革が予想される平成30年度の診療報酬・介護報酬同時改定に向け、情報収集を行いながら、適切に対応できるよう準備を進めます。(継続)	①30年度改定後の院内における影響を検証しつつ、次年度の改定に向け準備を行った。 また、10月の消費税率改定に伴う小規模改定にも適切に対応を行った。	A
	②請求漏れ、査定減を防止するための体制について、引き続き取り組んでいきます。(継続)	②今年度の査定状況について、院内で協議・検討を行い、査定が著しいものについてはセットオーダーの見直しも含め検討を行った。また、査定内容の分析結果を該当診療科へフィードバックし、査定率削減に努めた。	A
4 医業未収金への対応	①未収金の管理体制を強化します。督促、催告書を発送するとともに、回収困難な医業未収金については法曹関係者に委託し、回収に努めていきます。(継続)	①令和元年度の新規委託数は83人、委託金額は6,035,121円。回収額は前年度以前の委託分も含め、4,845,497円となった。	A
(5) 経営の安定性にかかるもの			
1 臨床研修医の採用	①臨床研修医を採用し、将来を見据えた人材の育成と確保に努めます。(継続)	①病院見学・実習の受け入れおよびレジナビへ参加するなど積極的な活動を行い、募集人員9人を確保した。	A
2 看護師の安定的な確保	①看護実習の受け入れや近隣の看護学校等との連絡を密に取りながら、優秀な人材の確保に努めます。(継続)	①青梅看護専門学校、武蔵野大学、東京家政大学の学生の実習を受け入れるとともに、これらの学校に出向き、就職説明会を行い、看護職員の人材確保に努めた。	A
	②看護学生への修学資金貸与制度を広く周知するとともに、多くの方に利用してもらうことで就学を支援し、総合病院における看護職員の確保と充実を図ります。(継続)	②就職説明会などで修学資金貸与制度の周知を図った結果、令和元年度は新規3名(大学生2名、専門学校生1名)へ貸与した。 令和元年度に就職した新卒者36名のうち、7名に貸与し、看護職員の確保に寄与している。	A
3 専門資格等を持つ人員の確保・育成	①医療に関する研修への参加や認定看護師等の専門的資格を取得しようとする職員を引き続き支援していきます。(継続)	①高度かつ最新の医療知識と技術習得に向け、外部研修等に積極的に受講させた。また専門分野の資格取得(診療看護師)に向けた受講者に支援を行った。	A
4 経営感覚に富む人材等の登用	①病院勤務経験のある事務職の採用を進めていきます。(継続)	①高度かつ専門的な医療事務を担うべく、病院勤務経験者の採用を継続して進めるとともに、在職職員に対し、最新の医療知識の習得に向け、外部研修等に積極的に受講させた。	A
5 働きやすい環境の整備	①子育て世代職員の支援として、院内保育所を継続・充実していくとともに、育児短時間勤務正規職員制度の導入について検討していきます。(継続)	①②③出産を控えた職員に対し、子育てガイドブックを配布し、子育て関連の制度周知を図った。	A
	②ワークライフバランスの実現に向けて、引き続き勤務体系の改善を図っていきます。(継続)	②医師の働き方の多様性への対応および通勤の負担軽減策として、原則診療科単位による選択制勤務時間を導入した。	A
	③家族の介護を行いながら働く職員の支援として、介護休暇の見直しや介護時間の導入を図ります。(H29～)	③各所属に休暇の手引きを配布し、介護等休暇に関する制度周知を図った。	A

〈取組状況〉A：計画通りに取り組み、目標を達成できた、B：計画通りに取り組んだが、目標を達成できなかった、C：計画通りに取り組めず、目標を達成できなかった

新改革プラン		R01取組内容等	自己評価
6 経営分析の充実	①D P Cデータの分析とそれを用いたベンチマーク（病院間比較）により、総合病院の強み・弱みを把握し、経営戦略に活かしていきます。（継続）	①ベンチマークシステムを活用した資料を作成し、経営会議において活用した。	A
	②管理会計の視点からの月次収支について引き続き取り組んでいきます。（継続）	①経営会議において、月次収支の報告を継続した。	A
7 消費増税への対応	①平成31年度に予定されている消費税率の見直しの影響を把握し、適切に対応していきます。（継続）	①令和元年10月の消費税率改正において、適切な対応を行った。	A
(6) その他			
1 災害時の体制の整備	①B C P（事業継続計画）の定期的な見直しを図ります。（継続）	①行動計画等の資料を追加し、業務の内容等部分的な見直しを行った。また、次年度は、新型コロナウイルス感染症への対応時の経験や反省点を踏まえ見直しを図る。	A
	②電子カルテをはじめとする情報システムのデータバックアップのあり方について、引き続き研究していきます。（継続）	②次期更新に向け、クラウド等の実用性・コストについて、情報収集を実施した。	A
2 広報・情報提供の充実	①医療や健康に関する市民への啓発・発信を目的に、ホームページの更新・市民講座の開催・広報誌の発行等を引き続き行うとともに、内容の充実に努めます。（継続）	①ホームページでは市民講座や相談会の開催情報、統計、決算および新病院建設等の情報を適宜更新した。年1回発行の「広報おうめ病院特集号」を「総合病院インフォメーション」に名称変更し、病院独自の広報とした。また、地域住民向けに、「おうめ健康塾」を9回開催し、延べ330人にご参加いただいた。	A
3 東京都への財政措置の要望	①東京都地域医療構想における西多摩構想区域においては、高度急性期機能が不足する結果が示されています。当該構想区域において、今後も総合病院が高度急性期医療を担っていくためにも、東京都に対し、新病院の建設にかかる補助金の新設や運営費の補助金の引上げを要望していきます。（H29～）	①補助金の新設について市長会等を通じ運営費の引上げの要望を行うとともに、新病院に関する補助金について現行制度の制度改善などの要望活動を行ったが、補助金の新設や運営費補助金の引上げには至らなかった。	B

〈取組状況〉 A：計画通りに取り組み、目標を達成できた、B：計画通りに取り組んだが、目標を達成できなかった、C：計画通りに取り組めず、目標を達成できなかった